

平成 24 年 2 月 24 日

各 位

会 社 名 ピー・シー・エー株式会社

代表者名 代表取締役社長 水谷 学

(コード番号 9629 東証第二部)

問合せ先 取締役管理本部長兼総務部長 佐藤 文昭

(TEL. 03-5211-2711)

基幹業務クラウド『PCA for SaaS』で、『国際保証業務基準 ISAE3402』『米国保証業務基準書第 16 号 SSAE16』(旧 SAS70)に準拠した「Type1 報告書」を取得

業務用パッケージソフトベンダーのピー・シー・エー株式会社(代表取締役社長:水谷学 本社:東京都千代田区富士見 東証二部登録銘柄コード9629)は、中堅・中小企業向け基幹業務クラウドサービス『PCA for SaaS』の会計、給与サービスにおいて、受託業務の内部統制について評価する基準、『国際保証業務基準3402(以下、ISAE3402)』と『米国保証業務基準書第16号(以下、SSAE16)』(旧SAS70)に準拠した「Type1報告書」を独立監査人より取得しました。平成24年2月27日より、希望されるお客様に対して、同報告書を無料で提供いたします。また今後、平成24年12月を目処に「Type2報告書」の取得を予定しており、基幹業務クラウドサービスの先駆けとして、サービス品質や信頼性の向上に努めます。

昨今、中堅・中小企業においても内部統制を強化する企業が増加傾向にあります。また、東日本大震災を契機に、事業継続計画(BCP)の観点から、自社で運用している基幹業務システムをクラウドサービスに移行検討されるケースが増えており、当社のクラウドサービスにおいても、内部統制の有効性を保証することが重要になっておりました。

クラウドサービス『PCA for SaaS』を利用しているお客様は、当社が提供する『ISAE3402』『SSAE16』に準拠した報告書を、自社の財務報告に関連する基幹業務の内部統制の有効性評価に利用することができ、評価に係る工数を大幅に削減することができます。

今後、「Type2報告書」の取得に向けた準備を進めてまいります。当社は『PCA for SaaS』の品質と信頼性をより一層高め、基幹業務のクラウドサービス利用に不安を持たれている企業に対し、万全の基幹業務基盤を提供し、中堅・中小企業におけるクラウドサービスの利用促進に尽力してまいります。

『ISAE3402』は、国際会計士連盟(IFAC)が定めた受託業務(給与計算のアウトソーシングサービスやシステム開発・運用・保守等)を行う会社の財務報告に関する内部統制の有効性を評価する国際的な保証基準です。米国においては同様の基準として、米国公認会計士協会(AICPA)が『SSAE16』を定めています。

「Type1報告書」は、受託業務に関連する内部統制が、評価基準日において統制目的を達成するために適切に設計されているかを、独立監査人が評価した内部統制保証報告書になります。

また、「Type2報告書」は、同様の内部統制が評価対象期間を通じて適切に設計され、かつ有効に運用されているかを、独立監査人が評価した内部統制保証報告書になります。なお、これら報告書は、今後適用が開始される日本基準への準拠対応も可能と認識しております。

以 上